



岡 広 監 第 7 号  
平成 1 9 年 7 月 5 日

岡山県後期高齢者医療広域連合長 竹 内 洋 二 様

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員 広 瀬 慶 隆

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員 道 上 正 寿

### 決算審査意見の提出について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成18年度岡山県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算及び証書類を審査したので、次のとおりその意見を提出します。



平成18年度

岡山県後期高齢者医療広域連合  
歳入歳出決算審査意見書

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員

## 平成18年度岡山県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算審査意見

### 第1 審査の対象

平成18年度 岡山県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算

### 第2 審査の期間

平成19年7月2日から平成19年7月5日まで

### 第3 審査の方法

審査にあたっては、歳入歳出決算書及び付属書類が関係法令に適合しているかどうかを確認するとともに、これらの計数について関係諸帳簿及び関係資料を照合審査し、あわせて関係職員から説明を聴取して実施した。

### 第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及びその他関係諸帳簿等はいずれも関係法令に準拠して作成され、計数は符合し、正確であり、予算の執行については、概ね適正であることを認めた。

なお、歳入歳出決算の状況及びこれらに対する審査意見は、次のとおりである。

## 1. 総括

### (1) 決算の概要

平成18年度における一般会計の予算額は、2,604万4,000円で、これに対する決算額は、次のとおりである。

○歳入総額 2,604万7,475円  
(予算に対する執行率は、100.0%である。)

○歳出総額 2,299万7,532円  
(予算に対する執行率は、88.3%である。)

一般会計の歳入歳出決算状況は、次表のとおりである。

(単位：円・%)

区 分	予算現額	歳 入		歳 出		歳 入 歳 出 差 引 残 額
		決 算 額	対予算	決 算 額	対予算	
一 般 会 計	26,044,000	26,047,475	100.0	22,997,532	88.3	3,049,943

### (2) 決算収支の状況

決算収支の状況は、次表のとおりである。

(単位：円)

区 分	歳入決算額	歳出決算額	形式収支額	繰越すべき財源	実質収支額
一 般 会 計	26,047,475	22,997,532	3,049,943	0	3,049,943

### (3) 財政の状況

一般会計の歳入決算額を財源別に見ると、次表のとおりである。

(単位：円・%)

区 分	歳入決算額	構成比
自主財源	26,047,475	100.0
依存財源	0	0.0
合 計	26,047,475	100.0

※ 「自主財源」とは、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金及び諸収入であり、「依存財源」とは、自主財源以外の収入である。

## 2. 一般会計

### (1) 概要

この決算における一般会計の予算額は2,604万4,000円で、これに対する歳入歳出決算額は、次のとおりである。

歳入総額 2,604万7,475円  
(予算に対する執行率は、100.0%である。)

歳出総額 2,299万7,532円  
(予算に対する執行率は、88.3%である。)

差引残額 304万9,943円  
(形式収支額)

### (2) 決算収支の状況

決算収支の状況は、次表のとおりである。

(単位:円)

区 分	平成18年度
予 算 現 額	26,044,000
歳 入 決 算 額	26,047,475
歳 出 決 算 額	22,997,532
歳 入 歳 出 差 引 額	3,049,943
( 形 式 収 支 額 )	3,049,943
翌年度へ繰越すべき財源	0
実 質 収 支 額	3,049,943

形式収支額・実質収支額とも304万9,943円の黒字決算となっている。

### (3) 歳入

#### ①予算の執行状況

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算	対調定
平成18年度	26,044,000	26,047,475	26,047,475	0	0	100.0	100.0

歳入決算額は、2,604万7,475円で予算現額に対して100%、調定額に対して100%の収入率となっている。

②款別収入状況

(単位:円・%)

区分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較	収入割合		
							対予算	対調定	構成比
分担金及び負担金	18,785,000	18,785,000	18,785,000	0	0	0	100.0	100.0	72.1
諸収入	7,259,000	7,262,475	7,262,475	0	0	3,475	100.0	100.0	27.9
合計	26,044,000	26,047,475	26,047,475	0	0	3,475	100.0	100.0	100.0

収入済額の内訳は、関係市町村事務費負担金1,628万5,000円、国庫補助金相当負担金250万円、預金利子3,700円、準備委員会決算剰余金725万8,775円となっている。

(4) 歳出

①予算の執行状況

(単位:円・%)

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
平成18年度	26,044,000	22,997,532	0	3,046,468	88.3

歳出決算額は2,299万7,532円で、予算現額に対して88.3%の執行率となっている。

②款別支出状況

(単位:円・%)

区分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	支出割合	
					対予算	構成比
議会費	511,000	159,912	0	351,088	31.3	0.7
総務費	24,303,000	22,661,054	0	1,641,946	93.2	98.5
民生費	730,000	176,566	0	553,434	24.2	0.8
予備費	500,000	0	0	500,000	0.0	0.0
合計	26,044,000	22,997,532	0	3,046,468	88.3	100.0

### 3. 実質収支に関する調書

#### (1) 一般会計

歳入総額	2,604万7,475円
歳出総額	2,299万7,532円
歳入歳出差引額	304万9,943円
翌年度へ繰越すべき財源	0円
<u>実質収支額</u>	<u>304万9,943円</u>
実質収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額	0円

### 4. 財産に関する調書

- 1 公有財産           なし
- 2 物品   (取得金額100万円以上の物品)   なし
- 3 債権               なし
- 4 基金  
  岡山県後期高齢者医療広域連合財政調整基金   0円



## 5. むすび

以上が、平成18年度岡山県後期高齢者医療広域連合一般会計の決算審査の概要である。

平成18年度一般会計の決算規模は予算総額2,604万4,000円に対し、決算額は歳入2,604万7,475円、歳出2,299万7,532円となっており、それぞれ予算現額に対する割合は100%、88.3%となっている。

また、実質収支は、歳入歳出差引残額の中に繰り越すべき財源がないので、形式収支額（歳入歳出差引残額）と同額の304万9,943円の黒字となっている。

今回の審査結果は、平成19年2月1日に岡山県後期高齢者医療広域連合が発足したことにより、平成19年2月1日から平成19年3月31日までの期間の決算を審査することとなったため、通常行う前年度実績などとの詳細な比較分析などは行えず、平成18年度の一般会計歳入歳出決算書及び付属書類が、法令に準拠して処理されているか、予算執行が適正かどうかについての正確性の検証を中心に審査を実施した。

審査の方法としては、決算書をはじめ関係諸帳簿、証拠書類等との照合を行うとともに、関係職員の説明を求める方法により審査した結果、いずれも正確で適正に処理されているものと認めるところである。

今後地方財政は極めて厳しい状況に置かれることが予想される。

広域連合の運営経費は、市町村の負担金で賄われており、厳しい財政状況の中で後期高齢者人口は今後益々増加し、広域連合も事務の複雑化及び経費の増高が予想されるが、事務事業の合理化、経費の節減等により行政コストの抑制を図り、効率的・合理的な運営を進めていく必要がある。

平成20年4月からの制度施行に向けて、高齢者医療確保法等法令に基づき、今後、後期高齢者医療制度の安定した運営を行うように望むものである。